

Web Usability & Accessibility

8 防衛庁サイト



アクセシビリティ分析担当
濱田英雄
(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当
石田直子
(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット

URL <http://www.udit-jp.com>

「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

テロ事件関連の情報も乏しく、利用者への気配りが感じられないサイト

日本の安全・危機管理の重責を担う「防衛庁」。米国同時テロ以降、自衛隊派遣問題などへの対応が注目される同庁だが、国民が知りたい情報について門を閉ざしているようなことはないだろうか。「ユーザビリティ&アクセシビリティ」のために、あえて防衛庁サイトを「口撃」する。

防衛庁ページでWebの「しつらえ」を考える。

ある目的のための設備や内装を整えたり、飾り付けをすることを「しつらえる」といいます。インテリアやおもてなしのときによく使われる言葉ですが、今回はWebページのしつらえについて考えてみたいと思います。

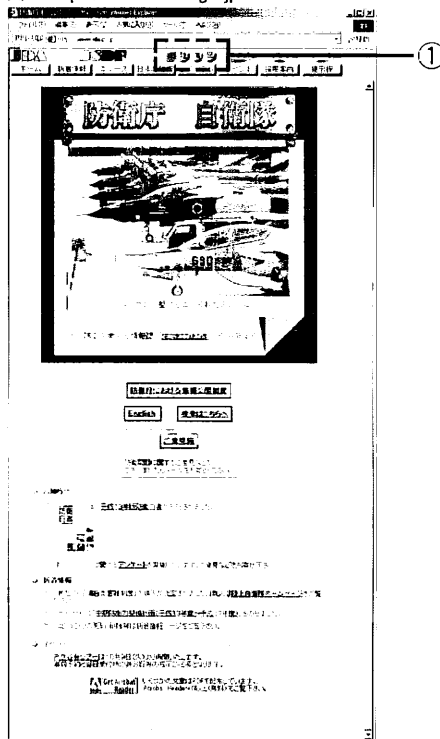
Webにおける「しつらえ」は、言い換えると「ユーザーにサイトで公開する情報を見て、利用してもらうための設備」となります。どんな点に注意すべきか挙げてみましょう。

- ・見て気持ちのよい(見やすい)つくりになっているか。
- ・内容が伝わるか。
- ・ユーザーが必要としているものがあるか。
- ・使いやすいか。

これらはユーザビリティのチェック項目となります。

防衛庁のサイトは、アイコンの処理などが荒く、大きな画像に占拠されて下の方にある画像が見えにくいなど、見栄えが悪く、使いづらい印象をもたせます。最近では見た目が美しく、機能も考えられたサイトが多く、ユーザーの目も肥えています。第一印象が悪いと、実際以上に使いづらい印象を与えます。入り口をきれいにしつらえることで、サイトに対する印象が変わります。ただし、見栄えを良くすることだけが、良いユーザビリティにつながるものではないことも忘れないでください。ユーザーへの気配りが行き届き、来てよかったと思えるサイトがしつらえの良いサイトといえるでしょう。

図1 <http://www.mofa.go.jp>



ユーザビリティ総合評価 ★★☆☆☆☆

一ロコメント 今回のかなり厳しい評価となりました。その原因は、努力はみられるが、気配りが感じられないためです。正直なところ、他省庁に比べてお粗末なサイトといえるでしょう。今の時期(10月上旬)でテロ事件関連についての防衛庁としてのコメントを可能な範囲で知りたいと思いましたが、この件は長官会見のページでしか触れていません。

アクセシビリティ総合評価 ★★☆☆☆☆

一ロコメント リンク画像にALT属性がなかったり、読みにくいところが多いのが減点対象になりました。

防衛庁サイトの裏の顔は？ ソフトで異なるHTMLタグ

ブラウザで見ている表の顔に対して、HTMLのタグが裏の顔になります。

アクセシブルWebに関する調査をする仕事柄、HTMLのタグを見ることは多いのですが、最近はWeb作成ソフトを使うケースが増えたためか、表の顔は綺麗なのに、裏の顔はボロボロで汚いものをけっこう見かけます。

Web作成ソフトが吐き出すHTMLには、それぞれ個性がありますが、ほとんどのソフトはデザインが優先されています。位置合わせに<table>タグを使い、数値指定してかなり細かく作られています。本来は<table>は表を作るためのもので、デザインに使うものではありません。代替のスタイルシートが完全ではなく仕方がない部分もありますが、何にでもテーブルタグで作るのはやめましょう。

最悪なのは、ワープロソフトなど専用のソフト以外で作られたHTMLです。タグ一つひとつにフォントの種類やサイズが書かれていたりするために、不要なタグを削除すると、容量が元の4分の1になることもあります。また、すでに作られたHTMLを読み込むと勝手に変換したり、ひどい時にはCGIを呼び出す指定タグを消すことすらあります。

ソフトを使うことで、誰でも簡単に情報を発信できることは素晴らしいことですが、誰もがみることができるアクセシブルなWebを作ることも必要なことです。作成ソフトを使って書くことは仕方がないにしても、後からHTMLのタグの修正ができる程度の知識は必要なのではないかと思います。

ユーザビリティについて (解説/石田直子)

ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★

トップページを見た限りでは、このサイトではどのような目的で、どういった情報を伝えようとしているのかがはっきりしません。防衛庁があるからサイトが付随的にできてくるわけではありません。伝えたいことがあるからWebを公開するのであれば、その目的を言葉やメニュー構成で表現していただきたい。飛行機が整列している様子を伝えたいわけではないはず。

全体像がトップページで把握できること ★★

トップページに書かれている内容としては、十分な内容を表現していません。上部にメニューがありますが、トップページではこのメニューに入ると何があるのか、またこのサイトではどのような内容を公開しているのかが、言葉や視覚的にわかるようなページにしてほしいです。

デザインや構成が統一されていること ★

メニューエリアに、「統」「陸」「海」「空」という丸があります(図1-①)。これをクリックすると、それぞれ「統合幕僚本部」「陸上自衛隊」「海上自衛隊」「航空自衛隊」のページへ飛びます(図3-①~④)。これを見て驚いたのですが、それぞれのページがお金をかけて作られています。しかし一般の人たちが自衛隊から個別の部隊を連想してページを開くとは思えません。組織的には別のもかもしれませんが、防衛庁の主要組織としてページの基本的な構成を統一すべきでしょう。

必要な情報が適切な場所にあること ★★

トップページ以外には「防衛庁」という表示がありません。「JDA」「JSDF」の略号が使われていますが、一般的ではありません。ページの階層構造ですが、「ニュース」の中に「お知らせ」というカテゴリがあります(図2-①)。この中に「お知らせ」に該当する項目があるようですが(図2-②)、これは「新着情報」とどのような意味の違いがあるのかわかりません。この2つを両方使うのはよく見かけますが、どちらも似たような言葉なので、その違いを明確にしなければ、「ニュース」としての意味合いが薄れます。

次の動作がわかりやすいこと ★★

ページのデザインが統一するのはいいのですが、サイトのどこを見ても同じように見えます。違いや階層の深さが明示されていないからです。現在自分がメニュー項目のどのカテゴリにいるのか、そのカテゴリのどのくらいの階層にいるのかが、ページを見ただけでははっきりしません。たいていのユーザーは自分がサイトの中で何回「戻る」ボタンを押せば、前に見たページに戻れるかなど意識しないでしょ。このため、各カテゴリのインデックスを見たい場合は「戻る」ボタンを気長に何回か押すか、改めて各メニューを押さなければならなくなります。

予想されたフィードバックが返ってくること ★★

リンクの中に、PDFファイルへのリンクとなっているものがあります(図4/リンクのはじめの項目はPDF)。トップページには「PDFによって配布されている文書もある」との記載がありますが、リンク先がPDFであるならばその旨を明記してください。PDFファイルと明記されているものもあるので、かえって混乱します。

図2-1 <http://www.jda.go.jp/j/news/info.html>

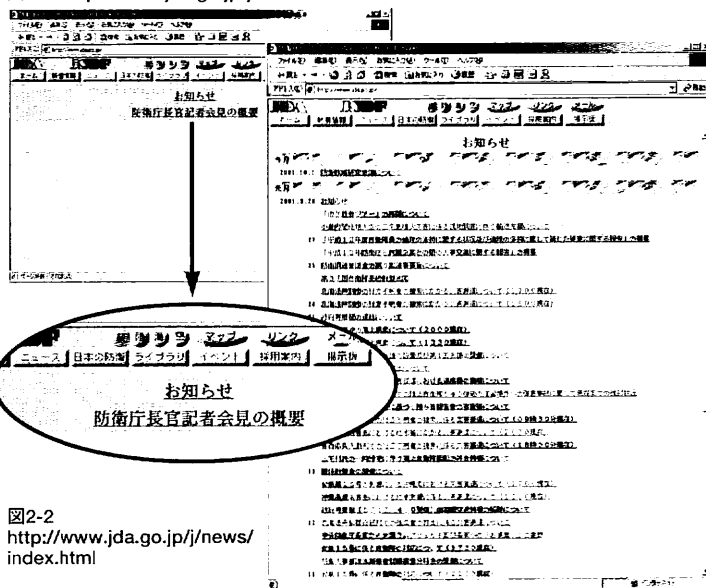


図2-2 <http://www.jda.go.jp/j/news/index.html>

図3-1

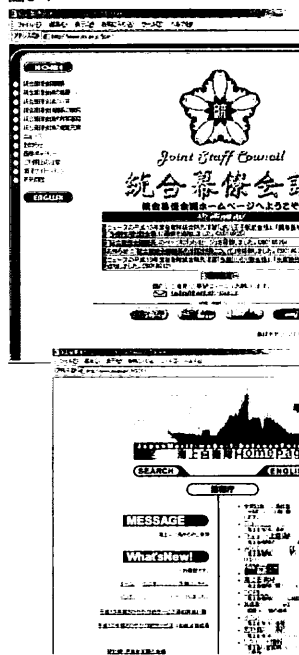


図3-3

図3-2

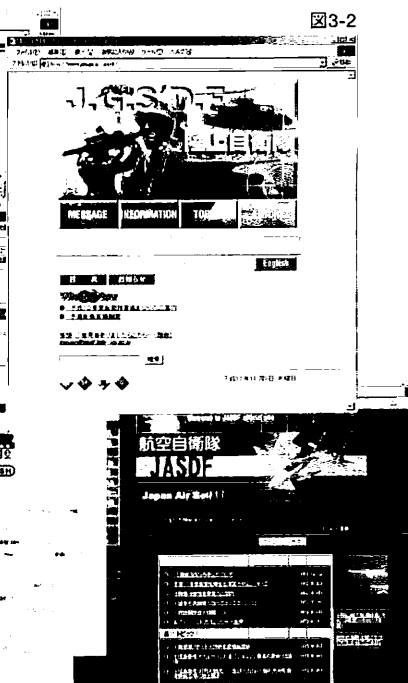


図3-4

図4 <http://www.jda.go.jp/j/info/joho/index.html>

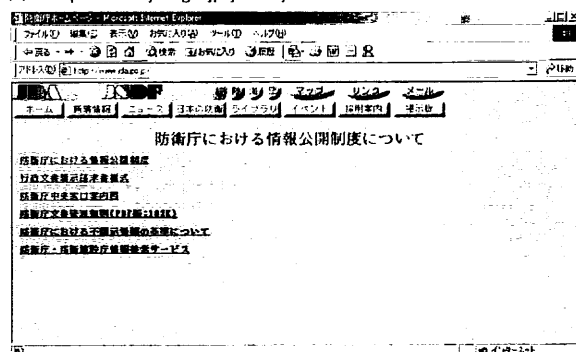


図5 <http://www.jda.go.jp/events/index.html>

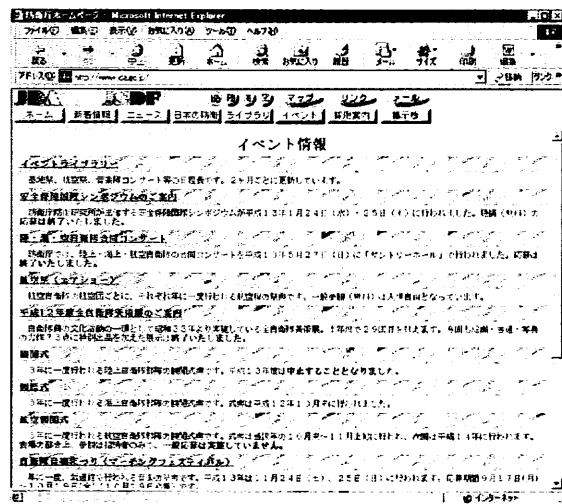


図6 <http://www.jda.go.jp/jgsdf/>

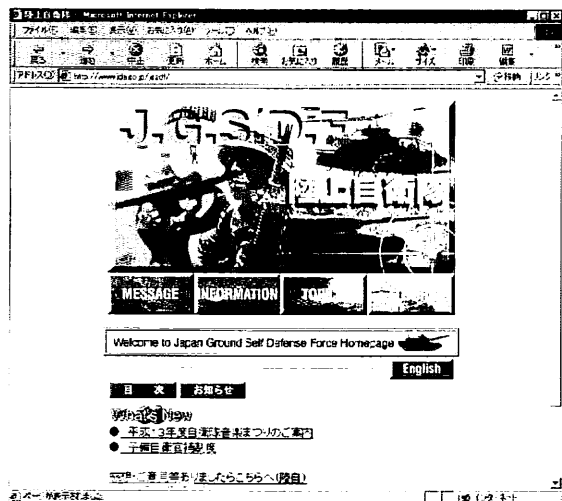


図7 <http://www.jda.go.jp/jasdf/asdf.htm>



アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

画像にはALT属性をつけること ★

リンクする画像にALT属性がついていないところがあるほか、ALT属性のない箇所が数多く見受けられます。

外国語の乱用はしないこと ★★★★★

わかりにくいカタカナ言葉はあまり使われていないようです。

<title>タグは的確につけること ★★★★★

一部適切でないところもありますが、おおむね適切についていると思います。

背景と文字色はコントラストがあること ★

ページの背景には問題があり、文字が読みづらくなっています。

フレームの使用は必要最小限にすること ★★★★★

フレームは使われていますが、許容範囲でしょう。

新しい技術には代替手段を用意すること ★★

一部、音声ブラウザでは読めない部分がありました。

その他

[トップページ](図1)

●NOFRAMES要素

(NOFRAMES)タグは、フレームに未対応のブラウザのために情報を提供するものですが、ここには「このページにはフレームが使用されていますが、お使いのブラウザではサポートされていません」と書かれています。

このような無視するような対応ではなく、メニューと本文のページにリンクするテキストを入れておくことが必要です。また、音声ブラウザでは、個々のフレームの<title>をリンク先として読み上げますが、このサイトでは、「TOP」「ホーム」となっており、あまり正しい表現とはいえません。「メニュー」「本文」等とすべきでしょう。

●イメージマップ

最初のタイトル画像がイメージマップになっていて、情報誌へのリンクが貼ってありますが、ALT属性がないため、どこにリンクしているのかわかりません。ここにもALT属性をつけましょう。

[イベント情報](図5)

●背景とのコントラスト

迷彩色柄の背景が文字を見づらくしています。基本的に背景に画像を使うと文字は読みにくくなりますので注意が必要です。背景と文字色はコントラストをつけて読みやすくすることを心がける必要があります。また、font-familyに「MS明朝」を指定してあるのも影響しているかも知れません。

[陸上自衛隊](図6)

●ALT属性のつけ方

ここは他のページと制作者が違うのでしょうか。ALT属性を意識しているようですが、アルファベットの書かれた画像に「MESSAGEへリンク」「INFORMATIONへリンク」等のALT属性がつけられています。英語の不得意な人を考慮して、「メッセージへリンク」等とカタカナ表記にした方が良いでしょう。

スクロールする文字の動画gifや「What,s New」に「*」がつけられていますが、それぞれの内容にあったALT属性をつけましょう。

[JASDF](図7)

●新しい技術

画像の下に「Shock Wave(73K).for Netscape 2.0+」とあり、何か動画が始まるのかと思ってプラグインしましたが、結局動作しませんでした。目的と操作方法が書かれていないと音声ブラウザ利用者だけでなく一般の人でもわかりません。